

全品 20% OFF

日本文化人類学会第57回研究大会 会員様限定 特別割引のお知らせ



開催期間：2023 年 6 月 1 日～6 月 17 日

注文方法① 当会公式サイトから

<https://www.osaka-up.or.jp/>

購入画面より、ご注文者情報の「備考欄」に、「2023 年度文化人類学会研究大会特別割引」と記載の上、お申し込みください。

注文方法② Eメールから

eigyo@osaka-up.or.jp

件名を「2023 年度文化人類学会研究大会特別割引」として、「お名前」「ご住所」「電話番号」「ご注文内容」をご記入ください。

【特別割引】

チラシ未掲載書籍も含め、当会刊行書籍全点を定価の 2 割引で販売いたします。

※ 上記の方法で直接ご注文頂いた場合のみ

※ 5,000 円以上のご注文は国内送料無料

公費注文の場合は、請求書類のご指定もあわせてご連絡ください。

私費御購入では、クレジットカードがご利用いただけます。サイトの仕様上、割引販売の場合でも画面上は定価で表示されますのでご注意ください。

大阪大学出版会
OSAKA UNIVERSITY PRESS

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘 2-7

大阪大学ウエストフロント

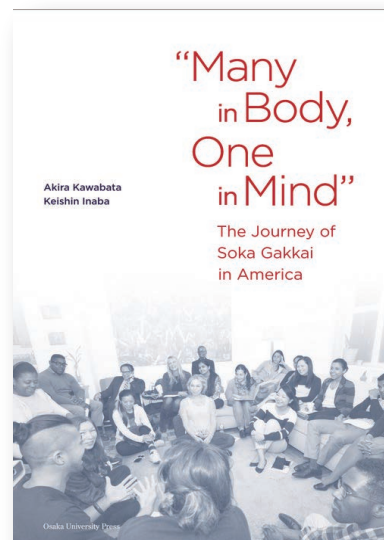
TEL:06-6877-1614

FAX:06-6877-1617

スワヒリ語文学史上
最も重要な作家に
関する
日本初の本格的な研究

移民による移民史—
日系ブラジル移民は
自らの生きた歴史を
どう叙述したか

Why, how, and
for what purpose
do the members
of the U.S. continue
their faith?



不透明の彼方の作家 ケジラハビ

スワヒリ語文学界の挑発者
小野田 風子 著

A5 判・386 頁・上製
6,300 円 + 税
ISBN978-4-87259-758-5 C3098

現代スワヒリ語文学の代表的作家であるケジラハビについて、社会的、文化的、政治的背景との関係から作品群を読み解き、ケジラハビの作家像に迫る。同時に、作品の不透明性や猥雑性といった特徴に着目し、その表現の根本にあるアフリカ地域の現実を論じる。

日本初の包括的かつ網羅的な現代スワヒリ語文学作家論であり、今後のアフリカ文学研究の指針となる画期的な研究書。スワヒリ語の言語学的特徴や口承文芸、詩、散文の成り立ち・受容にもページを割き、日本語で読める唯一のスワヒリ語文学小史としても重要な 1 冊。

移民が移民を考える 半田知雄と日系ブラジル 社会の歴史叙述

フェリッペ・モッタ 著

A5 判・318 頁・上製
5,500 円 + 税
ISBN978-4-87259-759-2 C3020

本書は、子ども移民としてブラジルに渡り、日系ブラジル社会について生涯にわたり思考し、表現した画家・移民知識人である半田知（1906—1996）の芸術的営為、思想を跡づけるものである。

これまで参照されてこなかった豊富な一次資料を活用し、日系ブラジル社会において「移民」という歴史的事象がいかに論じられてきたかを追うとともに、半田に注目することにより、移民知識人の姿を活写し、日系ブラジル移民史研究の新たな展開を拓くことを目的とする。

“Many in Body, One in Mind”

The Journey of Soka
Gakkai in America

川端 亮，稲場 圭信 著

菊判・146 頁・上製
6,200 円 + 税
ISBN978-4-87259-767-7 C3036

The Soka Gakkai is the most well-known and the largest of new religious movements (NRMs) in Japan. This book analyzes the Soka Gakkai's evangelizing in the United States from a sociological perspective of religion.

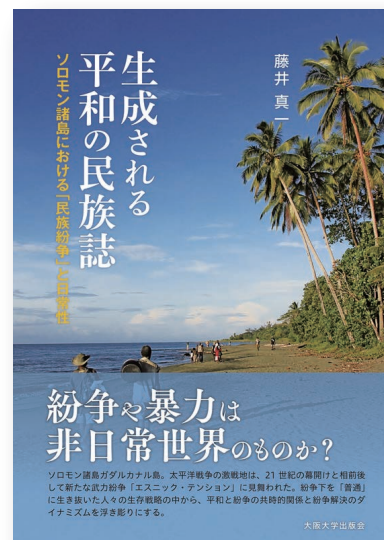
How did the Japanese Soka Gakkai come to be accepted by Americans and take root in American society in the United States, a country with a very different culture and religion?

※本書は『アメリカ創価学会における異体同心』（2018 年、新曜社）の英訳版です。

「他者」への理解、
他者との「共生」に
必要な手がかりを
探る

彼らは
プレーン（簡素）で、
誰一人として
見捨てない

紛争や暴力は、
非日常世界の
ものか？



かかわりあいの 人類学

栗本英世、村橋勲、伊東未来、
中川理 編著

A5 判・312 頁・並製
2,500 円 + 税
ISBN978-4-87259-745-5 C3039

人類学の基本であるフィールドワークは、文化・社会的背景の異なる他者と長期間接して他者を深く理解する「かかわりあい」の営みである。「かかわりあい」はたんなる手段ではなく、その過程で自己も他者も変容していく相互作用である。

本書は、かかわりあいをテーマとする最初の人類学書として、フィールドワークにおける学びや気づき、そして発見を伝授する。人類学とはなにかを学ぶことができる教科書、そして異文化理解・多様な他者との共生を考えるための実践的な入門書として最適。

アーミッシュキルト を訪ねて

照らし出される日々の
居場所へ

鈴木七美 著

A5 判・310 頁・並製
2,700 円 + 税
ISBN978-4-87259-760-8 C3077

美しいステッチと鮮やかな色合いの幾何学模様で知られるアーミッシュキルト。

260 年以上前、信教の自由を求めて北米に渡ってきたアーミッシュの人びとが大切にすること、手作りをすること、いつも傍らにいたいこと、会える時にはともに時間を過ごすこと…

本書では、アーミッシュキルトに映し出されるかれらの信仰や暮らしを読み解き、かれらの生き方とその舞台となるコミュニティとが深くかかわっていることを伝える。

生成される平和の 民族誌

ソロモン諸島における
「民族紛争」と日常性

藤井真一 著

A5 判・324 頁・上製
5,600 円 + 税
ISBN978-4-87259-737-0 C3039

太平洋戦争の激戦地として知られるソロモン諸島ガダルカナル島は、21 世紀の幕開けと相前後して新たな武力紛争「エスニック・テンション」に見舞われた。

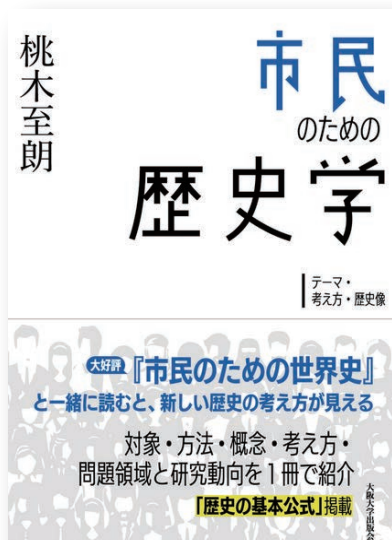
本書は彼らがどのように紛争処理を行ってきたかを分析したうえで、紛争後の社会再構築における最重要課題である和解と関係修復の経緯を論じる。

紛争下を「普通」に生き抜いた人々の生存戦略から、平和と紛争の共時的関係と紛争解決のダイナミズムを浮き彫りにする。

現代歴史学の
対象・方法・概念・
考え方・問題関心・
研究動向を
1冊で紹介

人形に魅了され、
期待した人々の
思惑とその歴史を
繙く

暴力なるもの、
権力なるもの、
深刻な社会問題と
そこからの
回復を綴る
民族誌。



市民のための 歴史学

テーマ・考え方・歴史像

桃木至朗 著

A5判・402頁・並製

2,500円＋税

ISBN978-4-87259-756-1 C1020

歴史は、「動かない過去」を暗記するだけ？「歴史学」は、「役に立たない」学問？

現代歴史学の考え方や動向を理解して、現代の諸課題に対して眼前の世界や常識に縛られずに考える批判的思考力を身に着ける。大好評『市民のための世界史』に続く、今を生きるための歴史学入門。

古い歴史常識の問題点や新しい歴史学の面白さを取り上げた「課題」や「資料」、歴史の基本概念や歴史学の基礎的な考え方、実際の歴史に広くみられるパターンをまとめた「歴史の公式」を収録。汎用的な歴史的思考力を訓練するために最適な一冊。

海を渡った人形使節 国際人形交流から見た 近代史

ベレジコワ・タチアナ 著

四六判・328頁・上製

4,100円＋税

ISBN978-4-87259-735-6 C3021

本書は、近代日本における国際人形交流の歴史を明らかにするものである。明治以降の日本における人形観の変化を分析することで、人形がどのように新しい文化的役割を担っていったかを示した。また、人形をめぐる国際関係の展開を丁寧に追い、少年赤十字の国際人形交流への貢献、国際人形交流の前例となった、「フランス流の玩具外交」の事例等のヨーロッパ諸国の間の人形贈呈の歴史とのつながりについても考察する。

近代において人形は国際関係を改善する存在として期待され、大きな力を持っていたものとして認識されていたことを示唆する画期的研究。

暴力の政治民族誌 現代マヤ先住民の経験と 記憶

池田光穂 著／山福朱実 装画

A5判・368頁・上製

5,900円＋税

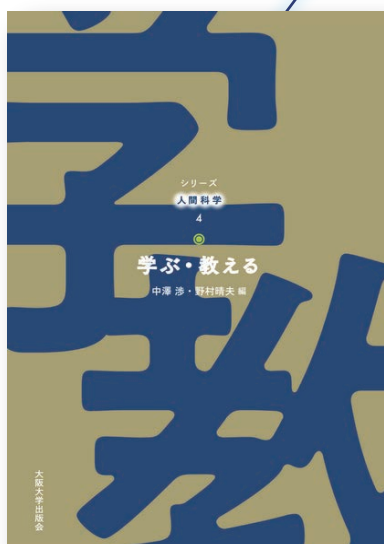
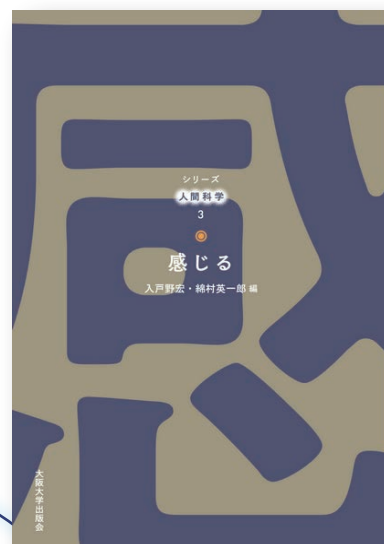
ISBN978-4-87259-697-7 C3031

一トラウマとして残り、飼いならされてしまう暴力の記憶を伝えることは難しい—

中米グアテマラ高地のマヤ系先住民の1960～2000年代の経験による政治民族誌。

1847年グアテマラ共和国成立後、1944年の革命を経て、現代までに、彼らは政治的・経済的な影響に直面してきた。なかでも内戦期（1961 - 1996）の筆舌に尽くし難い暴力経験、葛藤にともなう変化が彼らの語りで再現される。

希少なラテンアメリカ地域研究の「政治民族誌」として政治暴力の研究手法にも扉を開く。



シリーズ 人間科学

NEW

「人間とは何か」という問いに対する最先端の研究成果を分かりやすく解説したシリーズ
各巻のテーマに対し、心理学・社会学・教育学・人類学等文理横断の幅広い学問分野からアプローチ

- ①食べる ②助ける ③感じる ④学ぶ・教える ⑤病む
⑥越える・超える ⑦争う ⑧住む・棲む 以下続刊